



学校だより

半田市立乙川東小学校

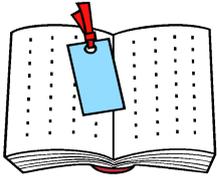
第4号

令和6年6月24日

発行責任者：福島 富美

おっぴ

校訓 たくましく 心ゆたかに 大きくのびよう



読書のすすめ



今、校内で「図書館まつり」が開かれています。日頃は図書館へあまり足を運ばない子どもたちにも図書館にきてもらおうと、図書委員会を中心に様々な催しが準備され、連日、図書館はたくさんのおともたちでいっぱいです。

学校図書館というと、小学校4年生の自分を思い出します。小学生になって初めてのクラス替えがあり、なかなか友達ができず、長い放課は毎日一人で図書館へ行って本を読んでいた。ある日、この図書館の本を全部読んでみよう、と思いつきました。そこで、端っこの本棚から順番に、毎日読むようになりました。その本棚は「分類2：伝記」のコーナーでした。キュリー夫人、ナポレオン、エジソン、ライト兄弟、ヘレンケラー、野口英世、宮沢賢治、聖徳太子、坂本龍馬…。特に歴史好きでも偉人に興味があったわけでもありませんが、どんどん読みました。2か月を過ぎた頃には1つ目の本棚を制覇して、次の本棚にいきました。さあ、読破できたでしょうか。実は、2つ目の本棚に入った頃に友達ができ、運動場でドッジボールをする方が楽しくなり、この計画はあえなく失敗に終わりました。

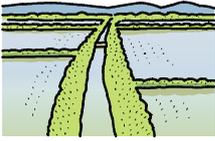
また、物語には、実体験以上にインパクトのある言葉をたくさん教わりました。強烈に覚えているのが「ひもじい」という言葉です。今、辞書で調べてみると「ひどく腹が減っていること」とありますが、物語の中に出てくる「ひもじい」という言葉には、哀しさや切なさのような感情が加わり、幼い私の心に強く残りました。

さて、今、子どもたちの周りは一瞬にして情報を得られる動画があふれています。その動画でさえも倍速で見るのだそうです。それに比べ、読書は時間がかかるし、情報を自分で頭の中で整理したり想像したりしないと楽しめません。けれどもその営みの一つ一つが、自分の心を豊かにしてくれたと思っています。

朝の読書タイムに6年生のクラスをのぞくと、子どもたちと同じように夢中で本を読んでいる担任の姿がありました。大人も子どもも本の世界に浸る時間、いいですね。



図書館まつりの会場



田植え体験



今年も5年生は総合的な学習で、日本文化の一つでもある稲作体験を行います。6月19日(水)には田植えを行いました。最初は、かえるやアメンボのいる田んぼになかなか足を踏み入れることができない子もいましたが、少しずつ泥の感触を確かめながら、最後にはみんな田植えをすることができました。五感を働かせた体験は、写真や映像にはない感動を呼び起こします。大切にしていきたいです。



今後、稲刈りや脱穀体験も予定されています。

この稲作体験のために、田んぼを提供して準備をしてくださっている地域の方々がいま
す。今日の田植えを迎えるために、育苗・代かきとたくさんの準備が必要です。そして、稲
刈りまでに、水の管理や除草作業等毎日のように田んぼの世話をしてくださっていること
に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

お願い

今年もまた、暑い夏がやってきました。学校では、熱中症警戒アラートの利用や当日の暑さ指数の計測を行って、戸外での活動の可否を決めたり、エアコン利用や水分補給に留意したりしています。ご家庭におかれましては、①帽子をかぶって登下校すること(炎天下の登下校で頭がたいへん熱くなります。)②朝ご飯を食べてくること(適度な水分と塩分が補給されます。)この2点について
よろしく願います。

